



今回の市長選で私は「市民派市長をつくる盛岡市民の会」に結成から参加し、斎藤純氏を支援しました。その理由は二つあります。

①お役所政治から脱却し市民の声が届く行政に変えていかなければ、不況と財政危機の中で、さらなる市民要望の切り捨てが続くだろう事。

②既成政党や大きな団体・組織に支えられた今までの選挙のあり方を変えなければ本質的に市民のための政治は実現できないだろう事。

二百名を超えるみなさんと一緒にボランティアとカンパを貰った選挙に取り組みましたが、二七一二一票で当選には至らず、残念ながら大きな組織・団体の壁をうち破ることは出来ませんでした。

今、必要なこと

市長選が終わってから「斎藤純さんはとても良い話をしていただけけれど、組織がない現状では実現できないだろう」と思った。長野県ですらあれだけ採めたのだから」という感想を聞きました。

これからの課題は「政策実現に向けた方針を出す力・それを多くの人たちに伝える力・仲間を増やし、必要な資金を集める力」を市民一人一人が発揮できるような組織を創っていくことだと今回の市長選を通じて実感しました。これまで以上に市民のための政党の必要性を感じています。

(次ページに続く)

市民のための政党をつくろう

盛岡市議会議員

いせ志穂 (市民会議)

事務所 盛岡市青山3-29-4

電話・FAX 645-8510

自宅 盛岡市前九年1-9-26

電話 646-5396 FAX 646-6524

<http://www.nnet.ne.jp/~ise/> E-mail: ise@nnet.ne.jp



「青山ゾーンバス実証運行」 ご意見をお寄せください。

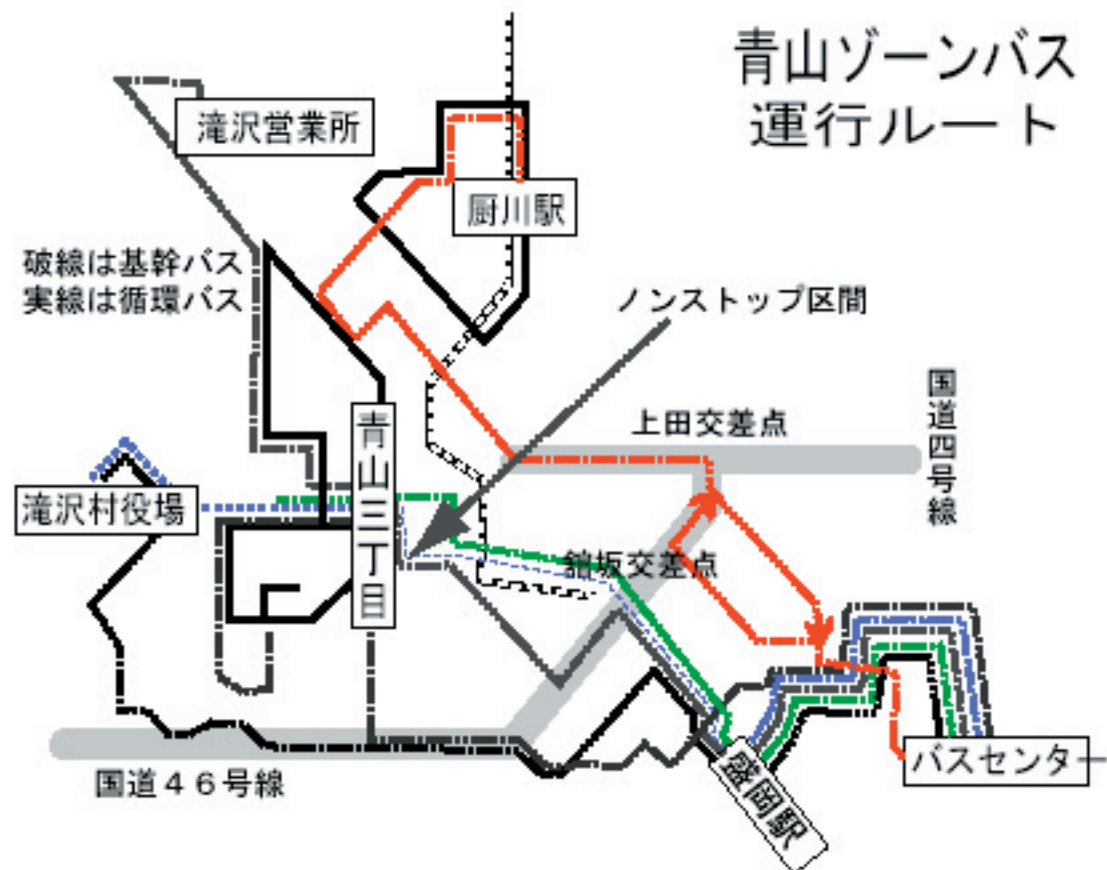
「財政危機の中、いつまでも進まない道路計画に税金を費やすより、可能な部分で公共交通に切り替えよう。その方が環境にも良い」との考え方で、私は青山新駅設置やオムニバスタウン事業を支援し、提言を続けてきました。

全てが上手く行っているとは必ずしも言えないゾーンバスですが、青山地区は、行政機関・病院・商店街など人が行き来する地域であることから、やり方によっては良い施策にすることが可能です。

今回始まった「青山ゾーン

バス実証運行」は県内一の渋滞と言われる館坂交差点に関するものです。バスを利用する方も利用しない方も、ぜひ、ゾーンバスについてご意見ください。知恵を出し合って良いものにして行きましょう。(以前から市や県に要望してきた「馬頭踏切交差点改良」については「平面交差で改良をする方向で、県と協議中」との返事をいただきました。青山新駅もバス運行と切り離して考えられません。こちらにも引き続きご意見を募集します)

青山ゾーンバス 運行ルート



九月市議会報告 代表質問より

「議会改革フォーラム」の代表質問を行いました。
谷藤市長の答弁では「築川ダム水需要の見直し」については失望しましたが「大型道路開発の見直し」に言及したことは評価できると思いました。「五千人雇用」についてはプランが具体的に提示される十二月議会に期待します。



A 人口や産業及び広域合併など将来予測は非常に難しい。
盛岡市の将来像を考えれば水源の確保は重要である。県との築川ダム取水事業の協議の中で水需給等の精査を行い、総合的に検討する。

（人件費の見直し）

Q 人件費の見直しについては？

（桑島市政との違い）
Q 桑島市政との違いは何か？
A 「先例にとられないで全体を見直していく」という事。全体を総点検しながら進めていく中で、違いは鮮明になるはずだ。

A 私自身を含めた常勤の特別職職員の給与削減と、一般職職員の給与見直しについて検討する。

（雇用対策）

Q 失業率を下げる目標値は？達成するために創出する市場規模の見込みは？五千人雇用はどの産業の分野でいただきたい
何人ずつの雇用を想定しているのか？

Q 失業率を下げる目標値は？達成するために創出する市場規模の見込みは？五千人雇用はどの産業の分野でいただきたい
何人ずつの雇用を想定しているのか？

A 今後策定の「行財政改革ビジョン」で明らかにして行く。
A 今後策定する雇用推進プランの中で把握して行く。

（築川ダム利水参加について）

Q 盛岡市水需給計画の評価は？築川ダムへの利水参加は必要不可欠か？

Q 都市拡大の考え方に基づいた「軸状都心構想」から中心市街地活性化の「コンパクト

（まちづくりの考え方）

Q 二環状六放射の道路計画は疑問だ。公共交通の利用促進を強化し、車中心のあり方を見直すべきではないか？

（渋滞対策）

A 幹線道路網整備によりバス専用レーンのネットワーク化や歩道整備によるバス停設の改善などバスサービスの向上を図ると共に、物資輸送など公共交通に転換できない自動車交通も円滑な通行が可能となる道路空間の確保が必要と考えており、今後とも道路整備プログラムの見直しを行いながら整備を図って行く。

市長退職手当削減が実現

今議会において、市長を初めとする特別職の退職手当が削減されました。「谷藤現市長の任期内に限り」という時限措置ですが、今回の削減は、この間の市民の声がもたらした成果だと思います。



あわせて、特別職の給与の認定にも反対しています。

特別職退職手当削減内容

	改正前	改正後
市長	3,830 万円	1,814 万円
助役	1,728 万円	1,205 万円
収入役	1,137 万円	871 万円

※改正前の額は今年の9月30日までの給与を、改正後の額は10月1日からの給与を、それぞれ基準にして計算したものです。

A 今年度の除雪指定路線延長は約60キロ増。全市道に対する除雪の割合は約55%。指定以外の路線等の除雪対応は、小型除雪機を15台購入し計20台を貸し出す。

（除排雪対策）

Q 今年度、除雪レーンをどれくらい増やすか？歩道の除雪はどうか？

シティの形成」へ比重を移すべきではないか？

A 軸状都心の形成は、単に新市街地のみを対象とするものではなく、既存市街地の活力も高め、盛岡市全体の活性化を推進することを基本とするものである。

（ホスピス施設）

Q ホスピス施設建設の意志はあるか？

A 設置は必要。建設にかかる多額の費用・医師他のスタッフ確保などのこともあり、岩手県に働きかけるなど、関係機関と協議を進めて行く。

（介護施設の不足）

Q 特別養護老人施設の待機者が多い現状をどうするか？

A 県の指導があり、現在入所の決定を「申込順」から「必要度の高い順」へと改める事によって、将来に備えた予約的な申込みが少なくなってきた。また、今年度五十床の特別養護老人ホーム建設を進めている。今後も民間事業者の事業意向を促進していく。

（前ページより）
「市民のための政党」とはこれまでの既成政党とは異なり、政治を変えたいと思っている市民一人一人がボランティアで参加する政党です。ぜひ、私と一緒にこの活動にご参加くださる様、お願いをいたします。
国政も変えよう
この間の「小泉改革路線」は口先ばかりで何ら実質的な効果をあげていません。長期に渡った自民党政権は、特定の団体の利益代表となり、相変わらず官僚政治がまかり通っています。
私は「市民のための政党」なしには、政治の抜本的な変化はないと考えています。が、それを念頭に、今回の衆議院の総選挙では政権交代をめざします。
多くのみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

